

小学校第4学年英語科学習指導案

日時 平成25年11月22日(金)

指導者 教諭 高本 拓朗

1 単元名 わたしはねこ (I'm～)

2 単元について

(1) ねらいについて

本単元では、動物の泣き声が国の文化によって異なっていることを通して、英語を正しく話さなくてはいけないという固定概念を少しずつ変えていきたい。そして、I'm～を身振り手振りを使って表現し、自己紹介をすることを通して、「伝えたいことを自分らしく相手に伝える」大切さを子どもたちに伝えていきたい。

(2) 児童の実態について

※ 省略

(3) 指導にあたって

- 音や言葉で体を動かしながら、英語を楽しみ親しみやすいような雰囲気をつくる。
- ジェスチャーを奨励しながら、非言語的コミュニケーションの大切さを教えていく。

ICT活用のポイント

①教師の活用

- ・導入場面で電子黒板に映像を出し、視覚的に子どもたちが歌いやすくなるようにする。

3 単元の目標

- ・ I'm～という表現を使えるようになるとともに歌に親しむ。
- ・ 文化によって動物の鳴き声の表現の仕方が異なっていることに気づく。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現する能力	理解する能力	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ALTや先生、友だちと楽しく活動し、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な英語をまねしたり、身振りなどを交えて発話したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な英語を聞いて、理解し、行動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本と外国の生活や文化の違いに興味を持つことができる。 アルファベットを正しく読んだり、ブロック体で大文字と小文字を書くことができる。

5 指導計画および評価基準（2時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	関	表	理	知	評価基準 評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 「わたしはねこ」の映像を見て、「I'm～」の表現を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身振り手振りを使って動物をわかりやすく表現する。 	○		○		<ul style="list-style-type: none"> 身振りを使ってI'm～の表現をすることができる（観察）
2	<ul style="list-style-type: none"> 色々な動物で役割を代えながら役割を演じ、友だちと交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 動物の鳴き声が日本の発音と異なっていることを理解させる。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語との泣き声の違いに気づいている。（シート） 役割になりきって、友達と交流することができる。（観察）

6 本時の展開

- (1) 目標
- ・I'm～という表現を使えるようになるとともに歌に親しむ。
 - ・文化によって動物の鳴き声の表現の仕方が異なっていることに気づく。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の 留意点・評価	備考 ICT 活用
導入 5分	<p>1 warm up 「おはようお花さん」 ♪</p> <ul style="list-style-type: none"> 手話つきで楽しく歌う。 <p>Goodmorning(flowers, butterfly, rainbow, sunrise, birds, sky)</p> <p>2 「サイモンセズゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな動きを指示する。 <p>Jump, stop, sitdown, stand up, run, など</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">I' m～をつかって自己紹介をしよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが楽しく授業に取り組めるように体を動かして歌を歌う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">能動型学習</div> <p>友だちと積極的にコミュニケーションをとる。</p>	電子黒板に映像と音を出す。
展開 33分	<p>3 アルファベット発音復習</p> <ul style="list-style-type: none"> Aの家族 (A H J K) Uの兄弟 (U Q W) <p>・アルファベットのO</p> <p>(T) 何人家族ですか? (C) 9人です</p> <p>(T) 番号は何番ですか? (C) 42です</p> <p>(T) 口の形は? (C) 口笛です</p> <p>(T) 舌の先は? (C) 下の歯です</p> <p>4 「わたしはねこ」</p> <p>(T) 映像を見て、動物の呼び方や鳴き方を確認しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> I am a cat. “Meow Meow” . など <p>(T) 英語の泣き声を聞いて、何か気付くことはありますか? (C) 泣き声が全然違います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物のお面をつけて自分の役割の練習 <p>(T) 友だちに自己紹介をしよう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">徹底型学習</div> <p>アルファベットを正しく発音させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">A基準</div> <p>積極的にI' mを使った自己紹介を行い、動物の鳴き声の違いに気づいている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>< B基準に達していない児童への手立て></p> <p>ペアを作り、練習を行い発話しやすいように声かけを行う。</p> </div>	<p>家族分けのカード</p> <p>アルファベットカード</p> <p>電子黒板に映像と音を出す。</p> <p>学習シート</p>

終 末 7 分	5 自分の名前で自己紹介 (T) 動物の名前でなく、自分の名前で自己 紹介しよう。 6 次時の学習の予告		
------------------	---	--	--